

# アンケート調査からみた経営概況

## 1 経営者の景況感と今後の景気見通し

### (1) 経営者の現在の景況感

今の景気水準について「好況である」と回答した企業は3.2%、「不況である」と回答した企業は69.1%で、景況感のDIは65.9となった。前期と比較すると3.1ポイントの上昇となり、厳しい水準ながら4期連続で改善した。

#### 業種別にみると・・・

##### 製造業

製造業のDI値は54.6で、前期と比較して7.9ポイントの上昇であり、厳しい水準ながら4期連続で改善した。

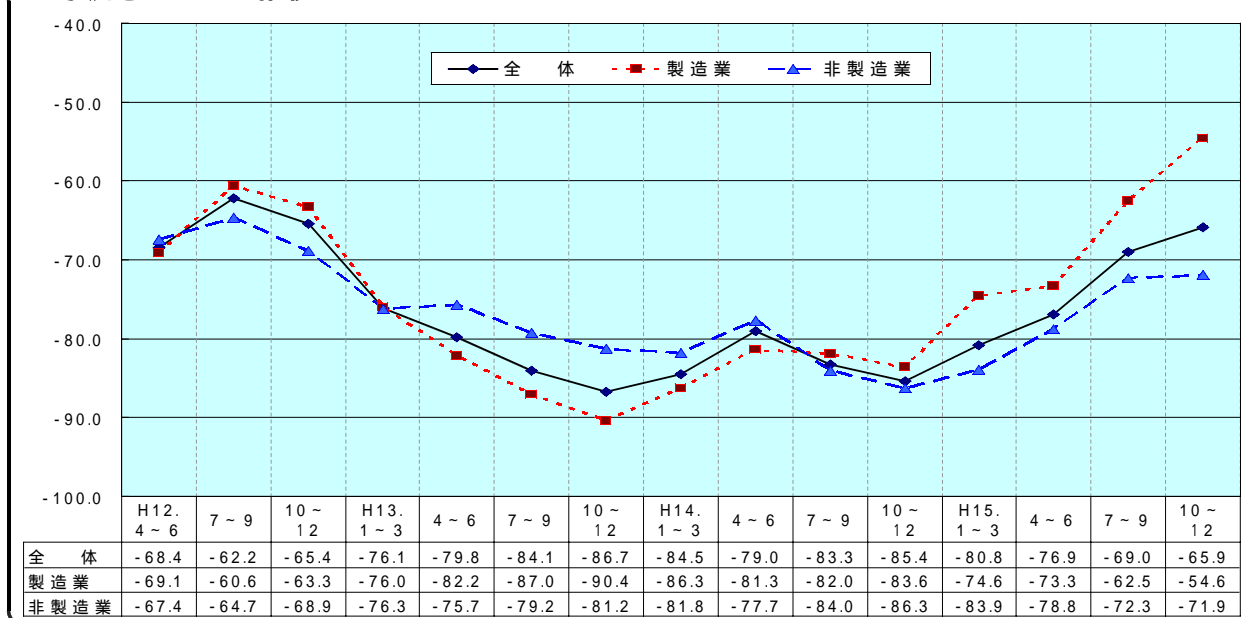
業種別にDI値をみると、前期と比べ調査対象の10業種中8業種で上昇した。特に「プラスチック製品」は24.5ポイントと大幅に上昇した。また「食料品」でも20ポイント近い上昇がみられた。

##### 非製造業

非製造業のDI値は71.9で、前期と比較して0.4ポイントとわずかながら上昇し、厳しい水準ながら4期連続で改善した。

業種別にDI値をみると、前期と比べ6業種中「サービス業」、「建設業」及び「情報サービス業」の3業種で上昇し、「医療業」、「卸売・小売業」及び「飲食店」の3業種で下降した。

景況感のDIの推移

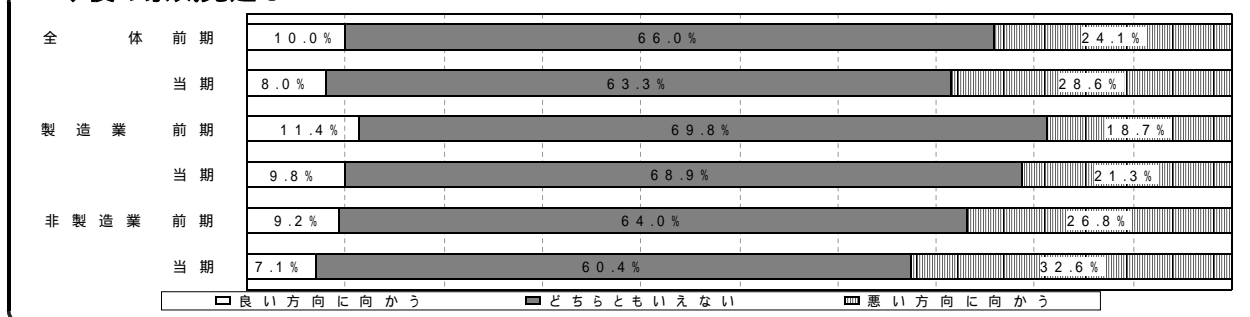


### (2) 今後の景気見通し

全体をみると「良い方向に向かう」と回答した企業は8.0%となり、前回の10.0%から2ポイント減少し、一方で「悪い方向に向かう」と回答した企業は28.6%となり、前回の24.1%から4.5ポイント増加するなど、4期ぶりに先行きへの懸念が増した。

業種別にみると、「製造業」では「悪い方向に向かう」と回答した企業は21.3%で、前期の18.7%に比べ2.6ポイント増加した。「非製造業」でも「悪い方向に向かう」と回答した企業は32.6%と、前期の26.8%に比べ5.8ポイント増加した。

#### 今後の景気見通し



## 景況感のD Iの推移

単位: DI

業 種	H14. 4～6月期	7～9月期	10～12月期	H15. 1～3月期	4～6月期	7～9月期	10～12月期 (当期)
全 体	79.0	83.3	85.4	80.8	76.9	69.0	65.9
製 造 業	81.3	82.0	83.6	74.6	73.3	62.5	54.6
食料品	59.0	78.9	70.6	66.7	69.8	71.7	53.0
衣服その他の繊維製品	89.1	80.4	91.5	91.8	89.6	78.2	82.5
家具・装備品	85.5	83.0	88.9	69.2	74.5	70.2	67.8
パルプ・紙・紙加工品	85.5	90.2	88.9	87.7	83.1	77.3	68.6
印刷・出版	94.7	94.6	95.2	91.1	95.1	88.3	80.0
プラスチック製品	81.0	81.3	77.3	76.6	71.4	71.4	46.9
金属製品	86.2	86.4	82.5	79.3	72.9	52.4	41.3
一般機械器具	81.5	76.5	78.6	73.2	77.3	52.2	47.1
電気機械器具	90.6	81.8	87.9	73.1	73.8	60.9	50.7
輸送用機械器具	62.1	67.2	76.2	40.0	27.1	7.7	9.8
非 製 造 業	77.7	84.0	86.3	83.9	78.8	72.3	71.9
建 設 業	85.4	90.2	88.8	91.2	86.2	79.7	77.6
総合工事業	82.0	88.3	88.9	90.8	89.3	80.2	78.0
職別工事業	85.7	89.2	90.3	89.0	87.3	77.1	72.6
設備工事業	87.6	92.2	87.5	93.2	82.7	81.7	82.0
卸売・小売業	79.6	86.6	88.1	84.2	79.4	71.8	74.1
(卸売業)	78.0	85.3	85.6	84.5	75.5	72.7	70.2
各種商品	66.7	75.0	80.8	82.6	55.0	50.0	39.1
繊維・衣服等	89.5	94.7	92.3	88.9	74.1	66.7	76.9
卸   飲食料品	72.0	70.0	84.0	81.5	72.0	66.7	84.0
建築材料、鉱物、金属材料等	75.0	100.0	85.2	90.0	79.3	77.1	65.4
機械器具	69.0	77.8	85.0	80.0	73.1	79.2	70.8
そ の 他	100.0	100.0	86.4	81.5	95.8	85.2	81.5
小   (小売業)	80.7	87.4	90.4	83.9	83.1	71.0	77.8
各種商品	77.4	88.5	88.5	85.2	78.3	76.7	73.1
織物・衣服・身の回り品	90.6	95.8	100.0	92.6	88.0	86.7	82.1
飲食料品	92.9	89.3	91.7	92.3	86.2	69.6	80.0
自動車・自転車	77.4	82.6	88.0	80.0	75.0	57.7	77.3
家具・什器・機械器具	75.9	86.2	90.9	68.8	80.0	60.7	73.1
そ の 他	70.0	83.8	84.8	87.1	87.9	71.9	80.0
飲 食 店	85.9	87.8	85.3	91.5	86.8	80.6	82.5
情 報 サービス業	61.9	77.5	78.9	72.6	68.1	60.6	59.6
医 療 業	69.0	72.7	83.7	73.8	70.6	64.5	72.0
サ ー ビ ス 業	68.0	77.8	83.1	76.2	72.8	68.3	62.2
専門サービス業	76.1	85.9	90.1	92.1	87.6	75.0	71.4
洗濯・理容・美容業	79.7	82.5	91.2	79.1	79.6	77.4	74.5
廃棄物処理業	52.5	67.9	69.5	59.5	52.3	56.4	44.9

\* 製造業の「電気機械器具」には、「情報通信機械器具」「電子部品・デバイス」を含む。

## 2 売上げについて

### (1) 当期の状況

前期と比べて売上げは「増えた」と回答した企業は25.9%、「減った」と回答した企業は36.7%で、売上げのD Iは10.8となった。前期と比較すると12.8ポイントの上昇となり、3期連続で改善した。前年同期と比べると12.9ポイント上回っており、6期連続で前年同期を上回った。

#### 業種別にみると・・・

##### 製造業

製造業のD I値は0.9で、前期と比べ18.4ポイント上昇し、前年同期を15.7ポイント上回った。製造業の売上げのD Iがプラスとなった(売上げが「増えた」と回答した企業が「減った」と回答した企業を上回った)のは、平成12年10～12月期以来である。

業種別にD I値をみると、「衣服その他の繊維製品」及び「印刷・出版」を除く8業種がプラスとなった。特に「パルプ・紙・紙加工品」は17.1と二桁のプラスとなった。前期と比べると、18.2ポイント減少した「輸送用機械器具」を除く9業種で上昇した。特に「パルプ・紙・紙加工品」は60ポイント近く、また「家具・装備品」も30ポイント以上と、どちらも大幅に上昇した。前年同期と比べると、10業種すべてで上回っている。

##### 非製造業

非製造業のD I値は17.2で、前期と比べて9.6ポイント上昇し、前年同期を11.0ポイント上回った。

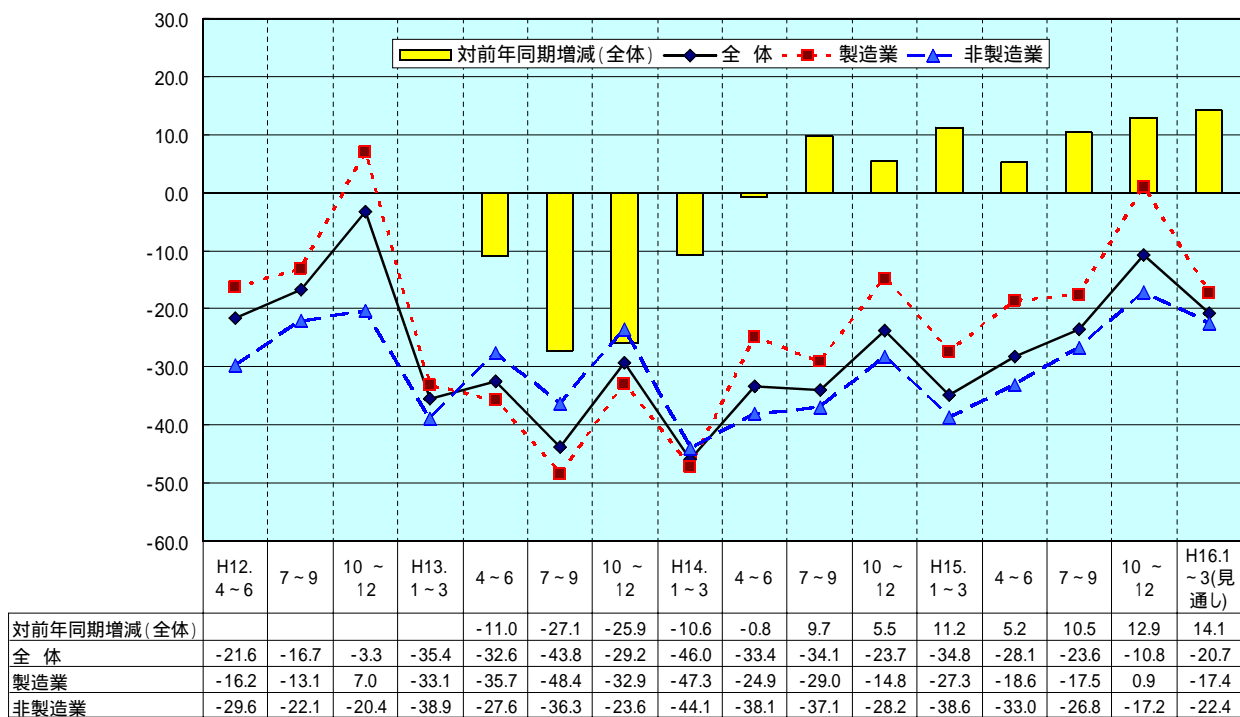
業種別にD I値をみると、「建設業」から「サービス業」までの6業種すべてでマイナスの水準である。前期と比べると、「飲食店」及び「情報サービス業」を除く4業種で上昇した。特に「卸売・小売業」は20ポイントを超える大幅な上昇となった。前年同期と比べると、「飲食店」を除く5業種で上回っている。

### (2) 来期の状況

当期と比べて売上げが「増える」見通しの企業は18.4%、「減る」見通しの企業は39.0%で、来期のD Iは20.7と見込まれている。当期と比較すると9.9ポイントの下降と見込まれている。

業種別にみると、製造業の来期のD Iは17.4で、当期に比べ18.3ポイント下降し、再びマイナスの水準に転じる見込みである。非製造業では22.4で、当期に比べ5.2ポイント下降する見込みである。

#### 売上げのD Iの推移



## 売上げのD I の推移

単位: DI

業 種	H14.			H15.			10~12月期 (当期)	対前年同期 増減 (当期)	H16. 1~3月期 (来期)
	4~6月期	7~9月期	10~12月期	1~3月期	4~6月期	7~9月期			
全 体	33.4	34.1	23.7	34.8	28.1	23.6	10.8	12.9	20.7
製 造 業	24.9	29.0	14.8	27.3	18.6	17.5	0.9	15.7	17.4
食料品	6.6	24.6	2.0	50.8	0.0	14.5	3.0	5.0	30.8
衣服その他の繊維製品	4.3	41.2	21.3	32.0	10.4	42.1	19.0	2.3	29.3
家具・装備品	50.9	32.1	11.3	15.1	33.3	26.3	5.1	16.4	25.9
パルプ・紙・紙加工品	0.0	45.9	3.1	54.5	17.2	42.4	17.1	20.2	48.6
印刷・出版	28.8	64.3	18.0	58.9	42.6	44.1	15.2	2.8	18.2
プラスチック製品	27.0	25.0	9.1	27.0	23.8	14.7	1.5	10.6	12.3
金属製品	34.5	17.2	21.1	25.9	7.2	14.3	6.3	27.4	3.2
一般機械器具	24.6	14.7	20.0	23.9	12.1	5.8	1.4	21.4	23.2
電気機械器具	26.6	29.0	17.9	14.9	15.6	0.0	1.3	19.2	6.8
輸送用機械器具	44.8	0.0	23.8	30.5	27.9	23.1	4.9	28.7	9.8
非 製 造 業	38.1	37.1	28.2	38.6	33.0	26.8	17.2	11.0	22.4
建設業	50.2	38.8	27.6	42.4	39.5	28.2	21.1	6.5	22.4
総合工事業	46.7	29.9	31.6	48.2	42.0	26.1	22.2	9.4	35.2
職別工事業	56.0	50.5	20.2	36.0	34.9	29.1	18.8	1.4	22.4
設備工事業	48.4	35.3	30.3	41.7	41.4	29.4	22.0	8.3	9.2
卸売・小売業	34.2	41.6	29.5	40.9	32.8	36.3	15.2	14.3	27.2
(卸売業)	31.1	39.0	27.3	38.3	21.7	28.7	2.0	25.3	23.4
各種商品	16.7	43.8	7.7	26.1	10.0	13.3	0.0	7.7	4.2
繊維・衣服等	52.6	58.8	29.6	48.1	21.4	25.0	11.1	18.5	14.8
卸  飲料品	8.0	5.0	60.0	55.6	16.0	28.0	12.0	48.0	56.0
卸  建築材料・鉱物 金属材料等	50.0	45.5	44.4	46.7	6.9	48.6	8.0	52.4	42.3
卸  機械器具	27.6	38.9	13.0	10.0	30.8	21.7	4.0	9.0	20.0
卸  その他	38.1	50.0	4.5	33.3	45.8	19.2	7.4	11.9	11.1
小  (小売業)	36.5	43.1	31.5	43.4	43.4	43.1	27.6	3.9	30.9
小  各種商品	19.4	30.8	38.5	29.6	39.1	36.7	38.5	0.0	46.2
小  織物・衣服・身の回り品	56.7	58.3	20.0	70.4	37.5	53.3	7.1	12.9	46.4
小  飲料品	55.6	46.4	39.1	64.0	40.0	50.0	46.2	7.1	26.9
小  自動車・自転車	32.3	47.8	40.0	55.6	26.3	32.0	31.8	8.2	36.4
小  家具・什器・機械器具	10.0	24.1	36.4	34.5	26.7	39.3	15.4	21.0	19.2
小  その他	48.3	51.4	18.2	12.9	78.8	46.9	28.6	10.4	14.7
飲食店	46.2	43.9	29.3	59.7	46.4	29.4	36.5	7.2	46.7
情報サービス業	28.6	15.3	15.5	11.9	13.7	2.2	8.5	7.0	14.0
医療業	51.4	46.0	43.9	37.6	42.0	30.6	23.7	20.2	25.4
サービス業	21.2	30.0	24.5	32.2	22.7	19.2	8.8	15.7	22.5
専門サービス業	34.3	44.3	35.8	31.2	46.4	26.0	9.0	26.8	21.0
洗濯・理容・美容業	22.0	51.8	43.5	66.7	15.7	35.2	36.0	7.5	47.1
廃棄物処理業	9.8	3.6	2.4	6.0	0.0	3.2	6.7	4.3	10.1

\* 製造業の「電気機械器具」には、「情報通信機械器具」「電子部品・デバイス」を含む

### 3 資金繰りについて

#### (1) 当期の状況

前期と比べて資金繰りは「良くなった」と回答した企業は9.4%、「悪くなった」と回答した企業は30.9%で、資金繰りのD Iは 21.5となった。前期と比較すると4.2ポイントの上昇となり、3期連続で改善した。前年同期と比べると14.8ポイント上回っており、6期連続で前年同期を上回った。

#### 業種別にみると・・・

##### 製造業

製造業のD I値は 13.7で、前期と比べ7.9ポイント上昇し、前年同期を15.0ポイント上回った。

業種別にD I値をみると、10業種すべてでマイナスの水準にあるが、「輸送用機械器具」及び「一般機械器具」など4業種でマイナスは一桁台となっている。前期と比べると、「電気機械器具」及び「輸送用機械器具」を除く8業種で上昇した。特に「パルプ・紙・紙加工品」は25ポイントを超える大幅な上昇となった。前年同期と比べると、10業種すべてで上昇している。

##### 非製造業

非製造業のD I値は 25.7で、前期と比べ2.2ポイント上昇し、前年同期を14.4ポイント上回った。

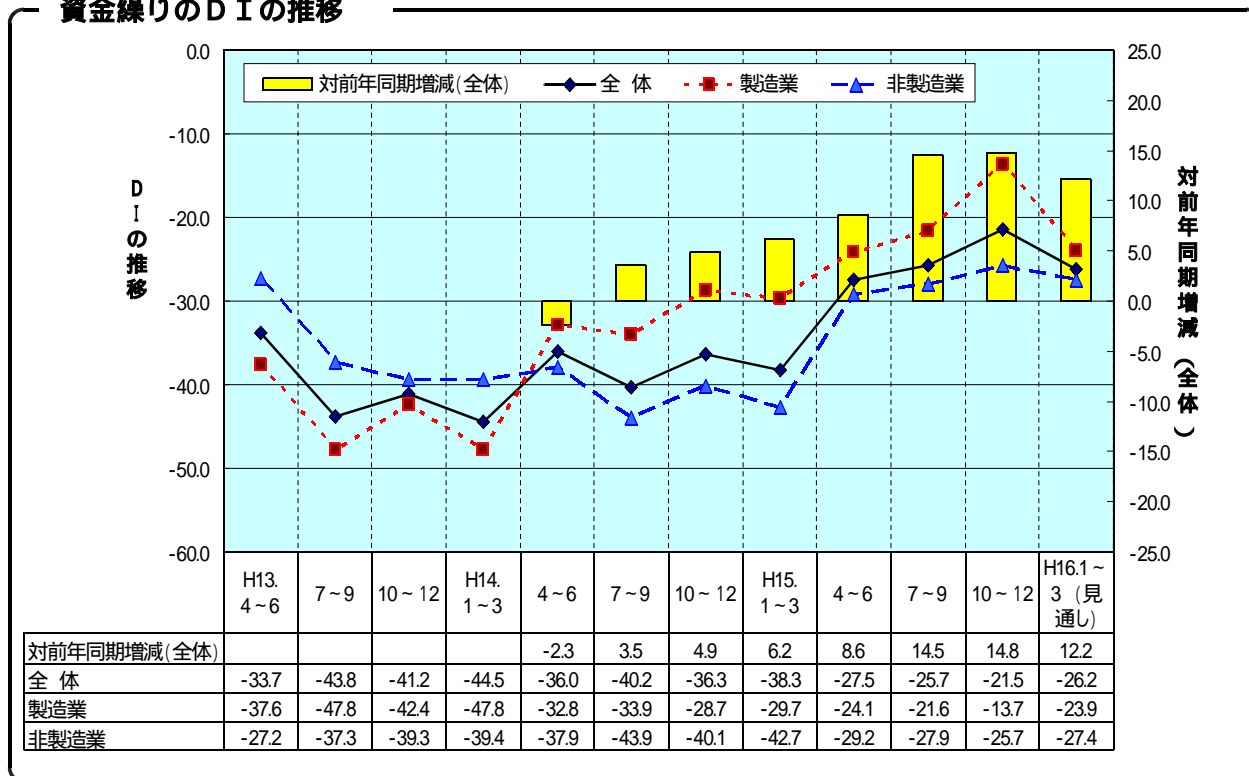
業種別にD I値をみると、「建設業」から「サービス業」までの6業種すべてでマイナスの水準となった。前期と比べると、「卸売・小売業」及び「医療業」などの4業種で上昇しており、「飲食店」及び「情報サービス業」の2業種では下降した。前年同期と比べると、「飲食店」を除く5業種で上回っている。

#### (2) 来期の状況

当期と比べて資金繰りが「良くなる」見通しの企業は7.8%、「悪くなる」見通しの企業は33.9%で、来期のD Iは 26.2と見込まれている。当期と比較すると4.7ポイントの下降と見込まれている。

業種別にみると、製造業の来期のD Iは 23.9で、当期に比べ10.2ポイント下降する見込みである。非製造業では 27.4で、当期に比べ1.7ポイント下降する見込みである。

資金繰りのD Iの推移



## 資金繰りのD Iの推移

単位: DI

業 種	H14.	7~9月期	10~12月期	H15.	4~6月期	7~9月期	10~12月期 (当期)	対前年同期 増減 (当期)	H16.
	4~6月期			1~3月期					1~3月期 (来期)
全 体	36.0	40.2	36.3	38.3	27.5	25.7	21.5	14.8	26.2
製 造 業	32.8	33.9	28.7	29.7	24.1	21.6	13.7	15.0	23.9
食料品	17.2	40.7	18.8	34.0	8.2	16.1	15.3	3.5	22.4
衣服その他の繊維製品	31.8	32.7	34.1	32.6	28.6	43.1	27.3	6.8	36.4
家具・装飾品	26.0	28.9	31.7	26.5	25.5	28.8	14.5	17.2	29.8
パルプ・紙・紙加工品	27.9	43.3	31.7	50.0	29.7	43.3	16.9	14.8	52.9
印刷・出版	38.2	42.3	48.2	41.5	41.1	24.6	22.0	26.2	19.7
プラスチック製品	28.1	25.9	13.6	19.6	13.0	15.6	9.8	3.8	21.7
金属製品	43.4	36.5	27.5	40.4	27.7	25.0	8.9	18.6	10.2
一般機械器具	26.7	30.0	18.8	27.7	20.3	22.2	8.1	10.7	33.8
電気機械器具	46.6	39.3	34.4	25.8	21.4	5.1	12.3	22.1	9.5
輸送用機械器具	43.6	17.0	29.5	1.8	27.1	3.2	1.8	27.7	1.7
非 製 造 業	37.9	43.9	40.1	42.7	29.2	27.9	25.7	14.4	27.4
建 設 業	47.3	50.4	46.2	53.5	41.4	35.1	33.8	12.4	34.7
総合工事業	48.8	38.6	47.7	58.3	37.1	36.4	35.8	11.9	42.5
職別工事業	52.9	60.5	46.1	45.3	41.7	33.6	29.9	16.2	37.6
設備工事業	42.0	50.0	44.8	55.4	44.8	35.1	35.1	9.7	23.9
卸売・小売業	39.9	41.8	39.2	42.6	25.2	29.5	22.5	16.7	27.5
(卸売業)	32.8	37.2	33.1	33.8	14.8	24.1	15.1	18.0	19.7
各種商品	41.2	50.0	50.0	22.7	0.0	28.6	15.8	34.2	10.0
繊維・衣服等	27.8	26.7	8.0	14.8	3.7	9.1	20.0	12.0	8.0
卸 飲 食 料 品	33.3	20.0	26.1	39.1	0.0	13.0	36.4	10.3	22.7
卸 建 築 材 料・ 鋳 物 金 属 材 料 等	25.0	36.4	53.8	50.0	14.8	48.4	8.7	45.1	37.5
卸 機 械 器 具	30.8	35.3	19.0	36.8	36.0	17.4	12.5	6.5	24.0
卸 そ の 他	41.2	58.8	40.0	40.0	30.4	20.8	0.0	40.0	15.4
(小売業)	45.3	44.7	44.8	51.0	35.4	34.4	29.3	15.5	34.6
各種商品	27.6	36.4	50.0	45.8	38.9	48.1	27.3	22.7	27.3
織物・衣服・身の回り品	53.6	70.8	33.3	58.3	30.4	37.0	25.9	7.4	40.7
飲 食 料 品	60.0	44.0	41.7	52.2	35.7	28.6	37.5	4.2	41.7
自 動 車・ 自 転 車	53.6	47.1	60.9	56.5	35.0	36.4	40.9	20.0	52.2
家 具・ 什 器・ 機 械 器 具	25.0	29.6	58.1	51.9	12.0	16.0	8.7	49.4	20.0
そ の 他	51.9	42.9	25.8	42.3	56.7	37.9	34.4	8.6	28.1
飲 食 店	40.2	53.8	29.6	53.8	43.9	36.7	45.8	16.2	47.4
情 報 サービス 業	31.0	30.4	34.8	20.5	6.6	10.5	17.0	17.8	7.0
医 療 業	37.9	38.8	42.5	26.6	25.7	25.9	19.8	22.7	18.5
サ ー ビ ス 業	22.1	40.8	34.9	34.3	23.1	21.1	19.2	15.7	24.0
専 門 サービス 業	35.9	49.3	45.9	37.0	40.2	27.0	26.7	19.2	21.9
洗 濯・ 理 容・ 美 容 業	22.4	45.1	54.5	58.6	10.0	28.3	21.3	33.2	43.8
廃 棄 物 処 理 業	9.6	30.8	5.6	13.9	11.4	10.5	9.8	4.2	14.8

\* 製造業の「電気機械器具」には、「情報通信機械器具」「電子部品・デバイス」を含む。

## 4 採算について

### (1) 当期の状況

前期と比べて採算は「良くなった」と回答した企業は10.6%、「悪くなった」と回答した企業は42.4%で、採算のDIは31.8となった。前期と比較すると4.2ポイントの上昇となり、3期連続で改善した。前年同期と比べると12.9ポイント上回っており、6期連続で前年同期を上回った。

#### 業種別にみると・・・

##### 製造業

製造業のDI値は23.5で、前期と比べ6.8ポイント上昇し、前年同期を14.9ポイント上回った。

業種別にDI値をみると、10業種すべてでマイナスの水準にあるが、「一般機械器具」ではマイナス一桁台となった。前期と比べると、「輸送用機械器具」及び「電気機械器具」を除く8業種で上昇した。また10業種すべてで前年同期を上回った。

##### 非製造業

非製造業のDI値は36.4で、前期と比べ2.6ポイント上昇し、前年同期を11.5ポイント上回った。

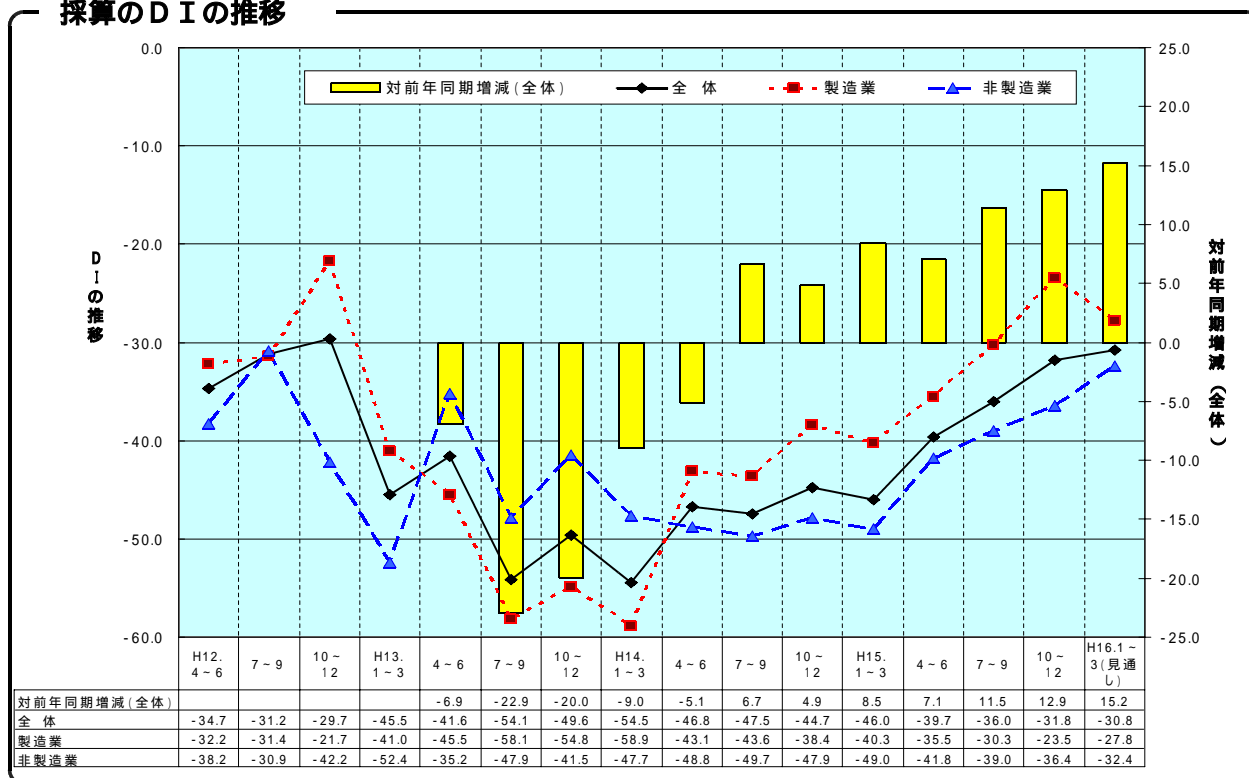
業種別にDI値をみると、「建設業」から「サービス業」までの6業種すべてでマイナスの水準となっている。前期と比べると、「医療業」及び「卸売・小売業」など3業種で上昇しており、「飲食店」及び「情報サービス業」など3業種で下降している。前年同期と比べると、「飲食店」を除く5業種で上回った。

### (2) 来期の状況

当期と比べて採算が「良くなる」見通しの企業は9.3%、「悪くなる」見通しの企業は40.0%で、来期のDIは30.8と見込まれている。当期と比較すると1.0ポイントの上昇となり、4期連続での改善が見込まれている。

業種別にみると、製造業の来期のDIは27.8で、当期に比べ4.3ポイント下降する見込みである。非製造業では32.4で、当期に比べ4.0ポイント上昇する見込みである。

採算のDIの推移



## 採算のD Iの推移

単位: DI

業 種	H14. 4~6月期	7~9月期	10~12月期	H15. 1~3月期	4~6月期	7~9月期	10~12月期 (当期)	対前年同期 増減 (当期)	H16. 1~3月期 (来期)
全 体	46.8	47.5	44.7	46.0	39.7	36.0	31.8	12.9	30.8
製 造 業	43.1	43.6	38.4	40.3	35.5	30.3	23.5	14.9	27.8
食料品	21.1	50.9	22.7	41.2	21.7	16.1	12.1	10.6	31.0
衣服その他の繊維製品	38.6	50.0	36.4	43.5	35.7	47.1	34.5	1.9	40.0
家具・装備品	51.1	40.0	45.2	32.7	46.8	35.3	16.7	28.5	31.6
パルプ・紙・紙加工品	31.6	64.4	36.5	70.3	41.3	53.3	35.9	0.6	57.6
印刷・出版	56.4	71.4	44.6	56.6	48.2	44.8	31.7	12.9	14.8
プラスチック製品	38.6	31.4	36.2	30.9	40.7	29.7	24.6	11.6	25.0
金属製品	52.8	45.3	42.9	53.8	27.7	38.3	23.2	19.7	22.0
一般機械器具	50.0	33.3	32.3	36.9	29.7	25.4	8.1	24.2	35.4
電気機械器具	39.3	36.1	36.5	37.7	31.5	16.9	20.5	16.0	12.2
輸送用機械器具	53.7	15.1	50.0	5.7	35.6	0.0	27.8	22.2	8.8
非 製 造 業	48.8	49.7	47.9	49.0	41.8	39.0	36.4	11.5	32.4
建 設 業	62.1	59.2	54.6	58.1	52.6	48.9	47.9	6.7	39.3
総合工事業	60.0	54.3	56.6	66.4	55.7	50.9	50.4	6.2	43.3
職別工事業	68.6	68.2	53.5	49.0	58.9	48.6	45.3	8.2	45.0
設備工事業	58.8	55.2	53.5	56.9	45.2	47.2	47.3	6.2	30.1
卸売・小売業	45.4	44.6	46.0	46.1	37.4	40.5	32.3	13.7	32.8
(卸売業)	42.3	34.8	41.3	41.7	28.7	31.3	25.5	15.8	27.5
各種商品	35.3	57.1	34.8	31.8	5.9	15.4	10.5	24.3	10.0
繊維・衣服等	44.4	14.3	36.0	44.4	14.8	18.2	32.0	4.0	32.0
卸 飲食料品	33.3	0.0	43.5	54.5	33.3	30.4	42.9	0.6	40.9
卸 建築材料・鉱物・金属材料等	55.0	36.4	50.0	56.0	40.7	56.7	22.7	27.3	41.7
卸 機械器具	37.0	41.2	38.1	31.6	44.0	34.8	29.2	8.9	20.0
卸 その他	52.9	64.7	45.0	29.2	34.8	17.4	15.4	29.6	19.2
小 売業	47.8	50.7	50.3	50.3	46.2	48.7	38.5	11.8	37.7
小 各種商品	20.7	40.9	50.0	25.0	44.4	51.9	31.8	18.2	36.4
小 繊維物・衣服・身の回り品	66.7	58.3	40.9	66.7	45.8	55.6	40.7	0.2	44.4
小 飲食料品	62.5	68.0	56.5	54.5	35.7	30.0	33.3	23.2	37.5
小 自動車・自転車	42.9	47.1	65.2	68.2	50.0	52.2	52.4	12.8	59.1
小 家具・什器・機械器具	33.3	33.3	63.3	44.0	28.0	44.0	26.1	37.2	24.0
小 その他	63.0	54.3	29.0	46.2	70.0	53.6	45.2	16.2	29.0
飲 食 店	51.8	53.2	35.2	57.1	41.5	43.3	55.9	20.7	44.8
情 報 サービス業	39.7	37.7	32.8	29.2	25.6	13.1	16.1	16.7	8.2
医 療 業	63.1	54.3	52.9	44.7	52.3	36.8	25.6	27.3	30.1
サ ー ビ ス 業	30.6	44.0	45.5	42.7	33.2	32.9	33.5	12.0	28.9
専門サービス業	43.8	57.6	53.3	50.0	55.4	39.3	40.0	13.3	30.2
洗濯・理容・美容業	36.8	56.9	62.7	52.7	22.4	41.5	38.3	24.4	47.9
廃棄物処理業	13.9	23.7	21.1	29.1	13.9	20.9	23.5	2.4	16.0

\*製造業の「電気機械器具」には、「情報通信機械器具」「電子部品・デバイス」を含む



## 5 設備投資の動向について

### (1) 当期の状況

当期に設備投資を実施した企業の割合は27.6%で、前期に比べ1.7ポイント下降し、4期ぶりに実施率が前期を下回ったが、3期連続で25%を超えている。

#### 業種別にみると・・・

##### 製造業

製造業では設備投資を実施した企業の割合は26.8%となり、前期と比べて1.9ポイントの下降であるが、3期連続で実施率が25%を上回った。

業種別に実施率をみると、47.5%となった「輸送用機械器具」をはじめ、4業種で30%を超えた。

設備投資の目的では、「維持・更新・補修」が45.3%と最も高い割合を示した。次いで「合理化・省力化」の30.6%となっている。

##### 非製造業

非製造業では設備投資を実施した企業の割合は28.1%となり、前期と比べて1.5ポイントの下降であるが、3期連続で実施率が25%を上回った。

業種別に実施率をみると、43.5%となった「医療業」をはじめ、3業種で30%を超えた。

設備投資の目的では、「建設業」は2期連続で「省エネ・省資源・環境対策」が最も高い割合を示したが、ディーゼル車の排出ガス規制への対応と考えられる。他の5業種では「維持・更新・補修」が最も高い割合を示した。

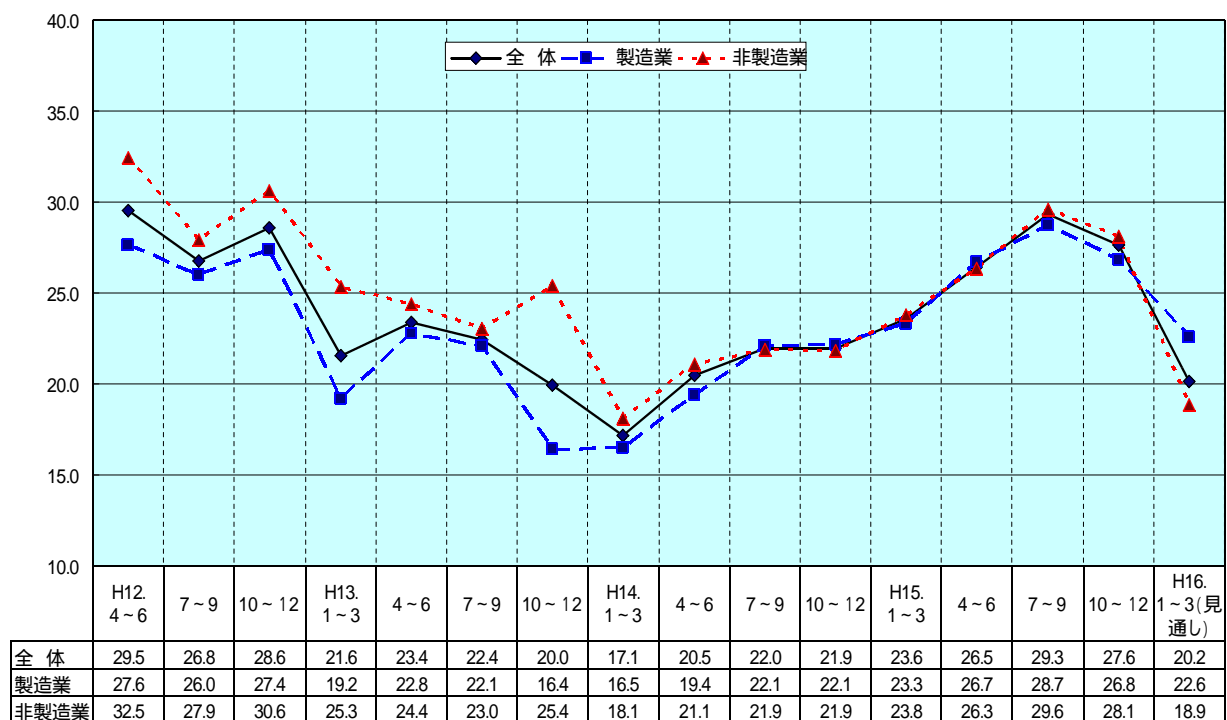
### (2) 来期の状況

来期に設備投資の実施を予定している企業の割合は20.2%である。

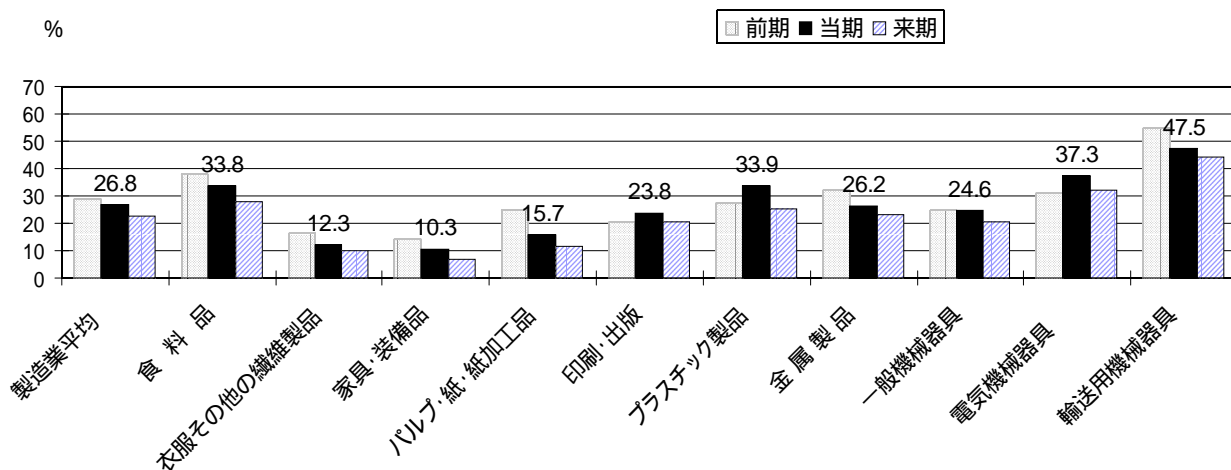
業種別にみると、製造業で22.6%、非製造業で18.9%となっている。

来期の設備投資の目的では、製造業では「維持・更新・補修」が37.4%と、当期と同じく最も高い割合を示している。非製造業では、「サービス業」で「業務の拡大」が、他の5業種では「維持・更新・補修」が最も高い割合を示している。

#### 設備投資実施率の推移

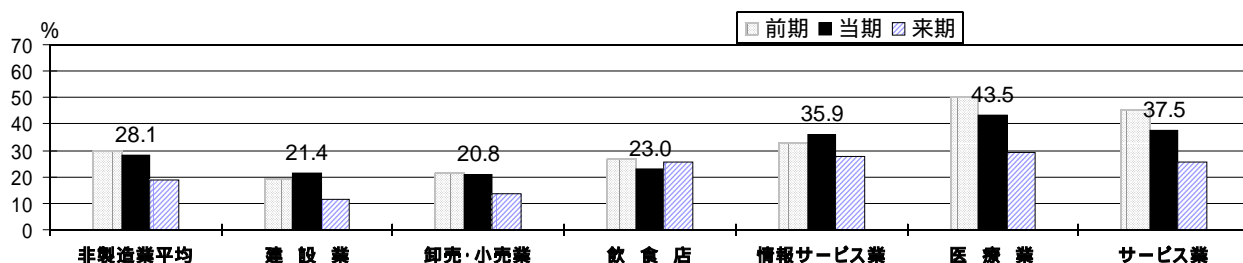


業種別・設備投資実施率 < 製造業 >



\* 製造業の「電気機械器具」には、「情報通信機械器具」「電子部品・デバイス」を含む

業種別・設備投資実施率 < 非製造業 >



業種別・設備投資目的

業種	目的	前期	当期	来期
製造業	維持・更新・補修	41.9%	<b>45.3%</b>	37.4%
	既存製品の拡大	22.7%	<b>14.7%</b>	27.3%
	合理化・省力化	27.9%	<b>30.6%</b>	27.3%
	省エネ・省資源	3.5%	<b>1.2%</b>	2.9%
	新製品の生産	18.0%	<b>26.5%</b>	23.7%
	多角化	3.5%	<b>1.2%</b>	2.9%
	研究・開発	6.4%	<b>4.1%</b>	11.5%
	その他	8.7%	<b>4.7%</b>	3.6%
建設業	維持・更新・補修	27.5%	<b>38.2%</b>	47.5%
	業務の拡大	4.3%	<b>5.3%</b>	15.0%
	合理化・省力化	8.7%	<b>7.9%</b>	22.5%
	省エネ・省資源・環境対策	59.4%	<b>42.1%</b>	17.5%
	従業員確保	2.9%	<b>5.3%</b>	2.5%
	多角化	0.0%	<b>1.3%</b>	2.5%
	その他	5.8%	<b>7.9%</b>	2.5%
卸売・小売業	維持・更新・補修	41.9%	<b>46.8%</b>	44.7%
	他店との差別化	19.4%	<b>17.7%</b>	15.8%
	合理化・省力化	27.4%	<b>22.6%</b>	26.3%
	従業員確保	3.2%	<b>0.0%</b>	2.6%
	多角化・多店舗化	11.3%	<b>6.5%</b>	10.5%
	商店街の共同事業化	3.2%	<b>0.0%</b>	0.0%
	その他	17.7%	<b>14.5%</b>	10.5%
飲食店	維持・更新・補修	75.0%	<b>57.1%</b>	42.9%
	他店との差別化	6.3%	<b>35.7%</b>	21.4%
	合理化・省力化	6.3%	<b>21.4%</b>	21.4%
	従業員確保	0.0%	<b>0.0%</b>	7.1%
	多角化・多店舗化	18.8%	<b>14.3%</b>	28.6%
	商店街の共同事業化	0.0%	<b>0.0%</b>	0.0%
	その他	0.0%	<b>0.0%</b>	7.1%

業種	目的	前期	当期	来期
情報サービス業	維持・更新・補修	56.7%	<b>40.6%</b>	41.7%
	業務の拡大	36.7%	<b>40.6%</b>	37.5%
	合理化・省力化	16.7%	<b>18.8%</b>	20.8%
	従業員確保	6.7%	<b>9.4%</b>	25.0%
	多角化	6.7%	<b>6.3%</b>	0.0%
	その他	6.7%	<b>0.0%</b>	8.3%
医療業	維持・更新・補修	73.7%	<b>56.4%</b>	54.1%
	業務の拡大	19.3%	<b>27.3%</b>	32.4%
	合理化・省力化	22.8%	<b>20.0%</b>	16.2%
	従業員確保	3.5%	<b>5.5%</b>	2.7%
	多角化	1.8%	<b>0.0%</b>	2.7%
サービス業	維持・更新・補修	43.3%	<b>34.9%</b>	36.2%
	業務の拡大	21.2%	<b>24.1%</b>	41.4%
	合理化・省力化	19.2%	<b>25.3%</b>	22.4%
	従業員確保	2.9%	<b>6.0%</b>	8.6%
	多角化	3.8%	<b>3.6%</b>	3.4%
その他	27.9%	<b>20.5%</b>	10.3%	

複数回答のため、総和は100%にならない。